

授業と評価の年間計画

教科	理科	科目	地学探究Ⅱ	
履修条件 対象生徒	選択 普通科 文型 3年			
学習目標	地学的な事物・事象についての観察・演習などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を身に付ける。			
学習方法	<p>[授業] 探究(愛媛県理科部会)、問題集、授業プリントを用いて授業を展開する。問題集の使い方やプリントのまとめ方については授業の最初の時間で説明する。問題演習ではプリントを活用し、科学的な思考力・理解力を養成する。</p> <p>[家庭] 問題集は、予習にも復習にも活用できる。基本的な知識は予習で補い、応用問題などは復習中心の学習が効果的である。自ら学習する習慣を身に付け、疑問を徹底して解決していくことが重要である。</p> <p>[補習・その他] 課題プリントや授業中に指示した問題はもちろん、日々の時事問題にも関心を持つことが重要である。</p>			
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 現在の地球</p> <p>(2) 期末考査まで ア 地球の変遷と生物の進化 イ 大気と海洋 ウ 宇宙の構造 エ 地球の環境</p>		<p>(学習内容)</p> <p>○地球の外観、地球内部構造、地震、日本の火山活動について学習する。 ○愛媛の地質、地形について学習する。 ○気温、気象災害、地球温暖化などについて学習する。 ○恒星の明るさ、距離、進化について学習する。</p>	
	<p>2 2学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 全範囲の復習</p> <p>(2) 期末考査まで ア 問題演習</p> <p>3 3学期</p> <p>(1) 学年末考査まで ア 入試問題の研究</p>		<p>○ 問題集やプリントを使って全範囲の基礎的な事項を確認する。 ○大学入試に向けて様々な問題演習を行う。</p> <p>○過去の入試問題に取り組み、大学入試に向けて調整する。</p>	
評価規準	知識・理解	技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現することができる。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	定期考査の成績を重視するが、授業における課題などの提出状況や出欠状況、授業態度も含め、総合的に判断する。			
その他	センター試験の設問は、ただ単に知識を問うだけでなく、知識をどう生かすかというところにポイントがあるため、資料よく読み込んだり、演習を通して深く考える姿勢が必要である。			